科目名	初等算数	初等算数		担当教員	\$	鈴木 明裕	
単位	2単位	講義区分		·		ナンバリング	ED1SRE209
期待される学修成果	基礎教養 教科	教育	·		·		
アクティブ・ラーニングの要素	ディスカッショ	ン、ディベート					
実務経験							
実務経験を生かした 授業内容							
到達目標及びテーマ		教科・算数科について理解 学的な背景などについて学ぶ			-		斗の重要な内容を取り上げ,その
授業の概要							ついて,実際に問題を解きなが らとにしたレポートの作成と全員
授業計画							
第1回	オリエンテー	ション					
第2回	算数教育につい	いての概観					
第3回	算数科の4領地	域についての概観 「A数と言	∤算」「B図∄	ド」「C測定・変化	と関係」	「Dデータの活用」の	概要
第4回	領域「A数と計	∤算」① 命数法・記数法を中	心に				
第5回	領域「A数と計	算」② 加法・減法を中心に	10進法	ቴと n 進法の比較な	を通して		
第6回	領域「A数と計	∤算」③ 乗法・除法を中心に	-				
第7回	領域「A数と計	∤算」④ 分数・小数を中心に	=				
第8回	領域「C測定,	変化と関係」① 量をつかも	ことを中心	いに			
第9回	領域「C測定,	変化と関係」②割合ならび	がに単位量を	らたりの大きさを「	中心に		
第10回	領域「B図形」	① 操作活動との関連を中心	いに				
第11回	領域「B図形」	② 立体を平面で表すことを	と中心に				
第12回	領域「C測定,	変化と関係」③比・比例・	反比例を中	<b>『心に</b>			
第13回	領域「Dデータ	領域「Dデータの活用」 統計的な処理を中心に					
第14回	算数に関する	本の紹介・発表と評価①					
第15回	算数に関する	算数に関する本の紹介・発表と評価② と まとめ					
事前学修	各回の内容と関係するテキストの章・節を講読し、疑問点をまとめること。 課題「算数に関する本を読んで、紹介では時間を要するので、早い段階より準備すること。						
<b>車</b> 後学校	2時間	本時の学習内容を振り返り,重要な点をノートに整理するあるいは授業ノートに加筆する。 授業の中で出された問題					

事前学修	2時間	各回の内容と関係するテキストの章・節を講読し、疑問点をまとめること。 課題「算数に関する本を読んで、紹介する」は時間を要するので、早い段階より準備すること。
事後学修	2時間	本時の学習内容を振り返り、重要な点をノートに整理するあるいは授業ノートに加筆する。 授業の中で出された問題について、解き直し、別解や発展問題を考える。 「算数に関する本を読んで、紹介する」の発表後には、紹介された本の中から幾つか読むこと。
フィードパックの方法	授業で課される	5課題(試験,レポートなど)については,講義のなかで 総評,解説を行なう.

成績評価方法	割合 (%)	評価基準等
定期試験	0%	実施しない
レポート	30%	算数に関する本の紹介レポートの内容と発表
上記以外の試験・平常点評価	70%	確認テスト。授業内での発言。プリントへの記入。 ノートの記述。

補足事項							
教科書							
書名		著者	出版社	ISBN	備考		
改訂新版 算数科教育の基 礎・基本		算数科授業研究の会	明治図書	978-4-18-075638-4	なし		
参考資料 小学校学習指導要領解説算数編							

科目名	初等算数			担当教員	黒田 大樹		
単位	2単位	講義区分			ナンバリング	ED1SRE209	
期待される学修成果	基礎教養 教科	教育	·		·		
アクティブ・ラーニングの要素	ディスカッショ	ョン、ディベート					
実務経験							
実務経験を生かした 授業内容							
到達目標及びテーマ		教科・算数科について理解を 色的な背景などについて学ぶ。				科の重要な内容を取り上げ,その	
授業の概要						について,実際に問題を解きなが もとにしたレポートの作成と全劇	
授業計画							
第1回	オリエンテー	ション					
第2回	算数教育につい	いての概観					
第3回	算数科の4領	域についての概観 「A数と計算	算」「B図形	彡」「C測定・変化と	関係」「Dデータの活用」	の概要	
第4回	領域「A数と計	十算」① 命数法・記数法を中心	ふに				
第5回	領域「A数と記	+算」② 加法・減法を中心に	10進法	とn進法の比較を	通して		
第6回	領域「A数と記						
第7回	領域「A数と記						
第8回	領域「C測定,	変化と関係」①量をつかむこ	ことを中心	NC.			
第9回	領域「C測定,	変化と関係」② 割合ならびに	こ単位量あ	たりの大きさを中	心に		
第10回	領域「B図形」	① 操作活動との関連を中心に	Ξ				
第11回	領域「B図形」	② 立体を平面で表すことを中	<b></b>   心に				
第12回	領域「C測定,	変化と関係」③ 比・比例・原	<b>支比例を</b> 中	心に			
第13回	領域「Dデータ	領域「Dデータの活用」 統計的な処理を中心に					
第14回	算数に関する	算数に関する本の紹介・発表と評価①					
第15回	算数に関する	章数に関する本の紹介・発表と評価② と まとめ					
事前学修	2時間	各回の内容と関係するテキス る」は時間を要するので、早			点をまとめること。 課題	「算数に関する本を読んで,紹介で	
		 本時の学習内容を振り返り,	重要な点	をノートに整理する	 るあるいは授業ノートに加		

事前学修	2時間	各回の内容と関係するテキストの章・節を講読し、疑問点をまとめること。 課題「算数に関する本を読んで、紹介する」は時間を要するので、早い段階より準備すること。
事後学修	2時間	本時の学習内容を振り返り、重要な点をノートに整理するあるいは授業ノートに加筆する。 授業の中で出された問題について、解き直し、別解や発展問題を考える。 「算数に関する本を読んで、紹介する」の発表後には、紹介された本の中から幾つか読むこと。
フィードパックの方法	授業で課される	5課題(試験,レポートなど)については,講義のなかで 総評,解説を行なう.

成績評価方法	割合 (%)	評価基準等
定期試験	0%	実施しない
レポート	30%	算数に関する本の紹介レポートの内容と発表
上記以外の試験・平常点評価	70%	確認テスト。授業内での発言。プリントへの記入。 ノートの記述。

補足事項							
教科書							
書名		著者	出版社	ISBN	備考		
改訂新版 算数科教育の基 礎・基本		算数科授業研究の会	明治図書	978-4-18-075638-4	なし		
参考資料 小学校学習指導要領解説算数編							

科目名	初等算数			担当教員	福田 茂隆	Ē	
単位	2単位	講義区分			ナンバ	リング	ED1SRE209
期待される学修成果	基礎教養 教科	4教育	·				
アクティブ・ラーニングの要素	ディスカッショ	ョン、ディベート					
実務経験							
実務経験を生かした 授業内容							
到達目標及びテーマ		教科・算数科について理解 対象背景などについて学、			-		科の重要な内容を取り上げ,その
授業の概要		ら。 一方で,算数について					こついて,実際に問題を解きなが もとにしたレポートの作成と全員
授業計画							
第1回	オリエンテー	ション					
第2回	算数教育につ	いての概観					
第3回	算数科の4領	域についての概観 「A数と	計算」「B図形	彡」「C測定・変化	と関係」「Dデータの	の活用」の	)概要
第4回	領域「A数と言	†算」① 命数法・記数法を	中心に				
第5回	領域「A数と言		に 10進法	ミと n 進法の比較な	を通して		
第6回	領域「A数と言		·1=				
第7回	領域「A数と記	†算」④ 分数・小数を中心	·1=				
第8回	領域「C測定,	変化と関係」① 量をつか	むことを中心	いに			
第9回	領域「C測定,	変化と関係」② 割合なら	びに単位量あ	らたりの大きさを「	中心に		
第10回	領域「B図形」	① 操作活動との関連を中	心に				
第11回	領域「B図形」	② 立体を平面で表すこと	を中心に				
第12回	領域「C測定,	変化と関係」③比・比例	・反比例を中	心に			
第13回	領域「Dデータ	領域「Dデータの活用」 統計的な処理を中心に					
第14回	算数に関する	本の紹介・発表と評価①					
第15回	算数に関する	算数に関する本の紹介・発表と評価② と まとめ					
東並尚攸	20年8月	各回の内容と関係するテ	キストの章・	節を講読し,疑問	点をまとめること	。課題「	算数に関する本を読んで,紹介す
事前学修 	2時間	る」は時間を要するので					筆する。 授業の中で出された問題

事前学修	2時間	各回の内容と関係するテキストの章・節を講読し、疑問点をまとめること。 課題「算数に関する本を読んで、紹介する」は時間を要するので、早い段階より準備すること。
事後学修	2時間	本時の学習内容を振り返り、重要な点をノートに整理するあるいは授業ノートに加筆する。 授業の中で出された問題について、解き直し、別解や発展問題を考える。 「算数に関する本を読んで、紹介する」の発表後には、紹介された本の中から幾つか読むこと。
7ィート パックの方法 授業で課される課題(試験,レポートなど)については,講義のなかで 総評,解説を行なう.		

成績評価方法	割合 (%)	評価基準等
定期試験	0%	実施しない
レポート	30%	算数に関する本の紹介レポートの内容と発表
上記以外の試験・平常点評価	70%	確認テスト。授業内での発言。プリントへの記入。 ノートの記述。

補足事項							
教科書							
書名		著者	出版社	ISBN	備考		
改訂新版 算数科教育の基 礎・基本		算数科授業研究の会	明治図書	978-4-18-075638-4	なし		
参考資料 小学校学習指導要領解説算数編							

科目名	初等算数			担当教員	長島 清司	長島 清司	
単位	2単位	講義区分	講義		ナンバリング	ED1SRE209	
期待される学修成果	基礎教養 教科	斗教育	'		'	'	
アクティブ・ラーニングの要素	ディスカッション、ディベート						
実務経験							
実務経験を生かした 授業内容							
到達目標及びテーマ	初等算数では,教科・算数科について理解を深め,広げることをねらいとする。 そのために,算数科の重要な内容を取り上げ,その指導体系や数学的な背景などについて学ぶ。 学習者として多くの活動を体験する場面を用意する。						
授業の概要	算数についての理解を深めるため、算数の概要について講義をする。次に、算数科の4領域の教材について、実際に問題を解きながら理解を深める。一方で、算数についての理解を広げることを目的とした本の講読ならびにそれをもとにしたレポートの作成と全員の発表を行う。						
授業計画							
第1回	オリエンテーション						
第2回	算数教育についての概観						
第3回	算数科の4領域についての概観 「A数と計算」「B図形」「C測定・変化と関係」「Dデータの活用」の概要						
第4回	領域「A数と計算」① 命数法・記数法を中心に						
第5回	領域「A数と計算」② 加法・減法を中心に 10進法とn進法の比較を通して						
第6回	領域「A数と計算」③ 乗法・除法を中心に						
第7回	領域「A数と計算」④ 分数・小数を中心に						
第8回	領域「C測定,変化と関係」①量をつかむことを中心に						
第9回	領域「C測定、変化と関係」②割合ならびに単位量あたりの大きさを中心に						
第10回	領域「B図形」① 操作活動との関連を中心に						
第11回	領域「B図形」② 立体を平面で表すことを中心に						
第12回	領域「C測定,変化と関係」③ 比・比例・反比例を中心に						
第13回	領域「Dデータの活用」 統計的な処理を中心に						
第14回	算数に関する本の紹介・発表と評価①						
第15回	算数に関する本の紹介・発表と評価② と まとめ						

	事前学修	2時間	各回の内容と関係するテキストの章・節を講読し、疑問点をまとめること。 課題「算数に関する本を読んで、紹介る」は時間を要するので、早い段階より準備すること。			
	事後学修	2時間	本時の学習内容を振り返り、重要な点をノートに整理するあるいは授業ノートに加筆する。 授業の中で出された問題について、解き直し、別解や発展問題を考える。 「算数に関する本を読んで、紹介する」の発表後には、紹介された本の中から幾つか読むこと。			
フィート・バックの	フィードパックの方法	授業で課される課題(試験、レポートなど)については、講義のなかで総評、解説を行なう。				

成績評価方法	割合 (%)	評価基準等	
定期試験	0%	実施しない	
レポート	30%	算数に関する本の紹介レポートの内容と発表	
上記以外の試験・平常点評価	70%	確認テスト。授業内での発言。プリントへの記入。 ノートの記述。	

補足事項						
教科書						
書名		著者	出版社	ISBN	備考	
改訂新版 算数科教育の基 礎・基本		算数科授業研究の会	明治図書	978-4-18-075638-4	なし	
参考資料	小学校学習指導要領解説算数編					